

IoT技術で物品管理や物流管理を省力化

RFID技術により物品・物流管理業務を省力化します。

背景・目的

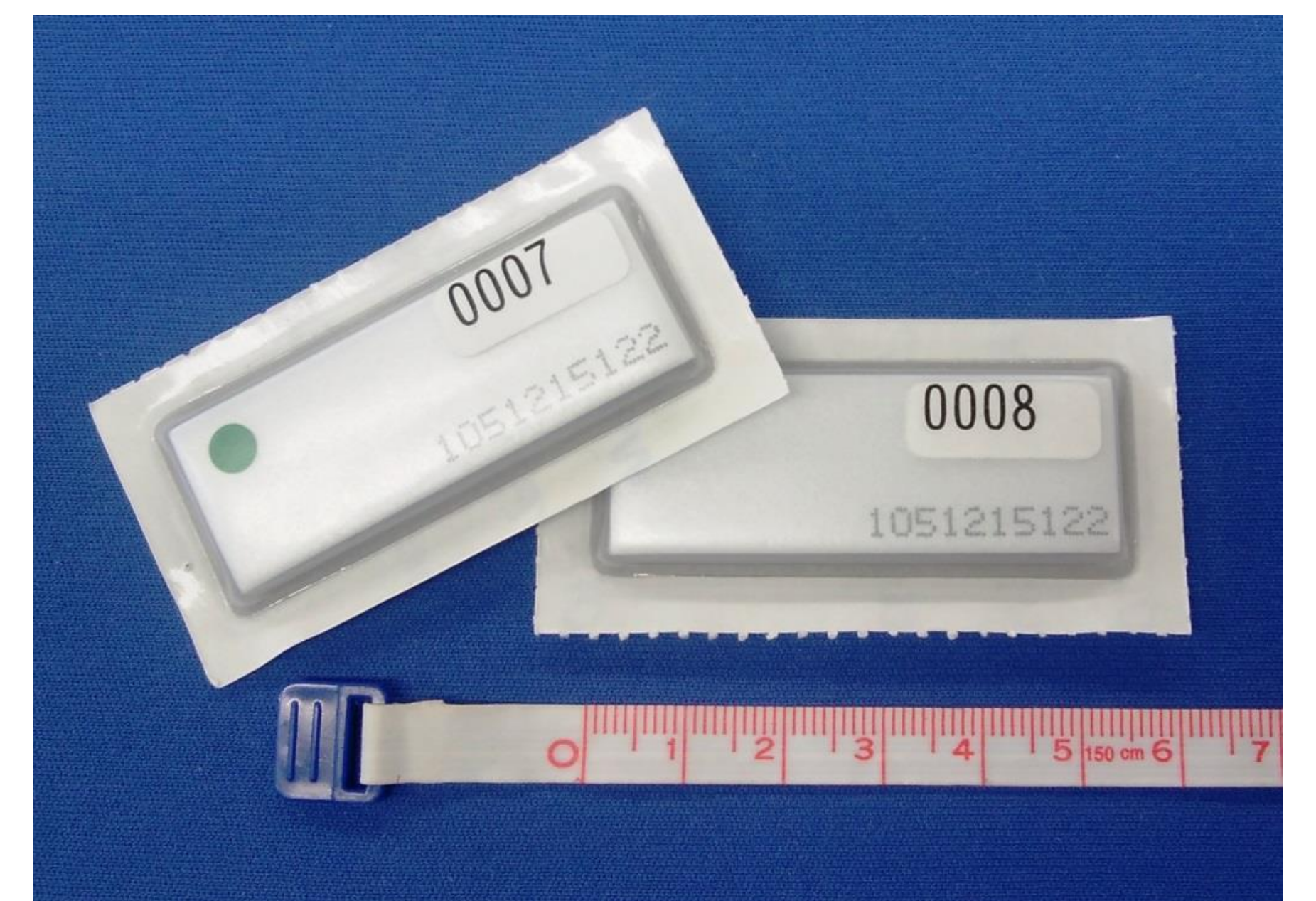
- 設備や物品の管理業務において効率化が求められている。
 - ・使用頻度の高い装置(電力量計など)の入在庫管理・棚卸し作業を省力化したい。
 - ・電力設備に故障・障害が発生した際に使用する復旧資器材の在庫管理を確実に実施したい。
 - ・広い倉庫の中から、目的とする物品を迅速に見つけたい、など。
- アパレル業界等でRFIDによる物品・物流管理が広がりをみせているが、金属製の電力設備にはRFIDを適用することが難しかった。
- 当社は、株式会社フェニックスソリューションと協同し、最新の金属対応RFIDタグの活用による物品・物流管理業務の省力化に向けた実証研究を推進します。

特長

- 管理したい物品にRFIDタグを貼り付け、データベース化すると
- タグを読み取るだけで入庫・出庫管理ができる
 - 100個の物品を数秒で棚卸しできる
 - 数m離れた距離から物品の場所を探索できる

用途

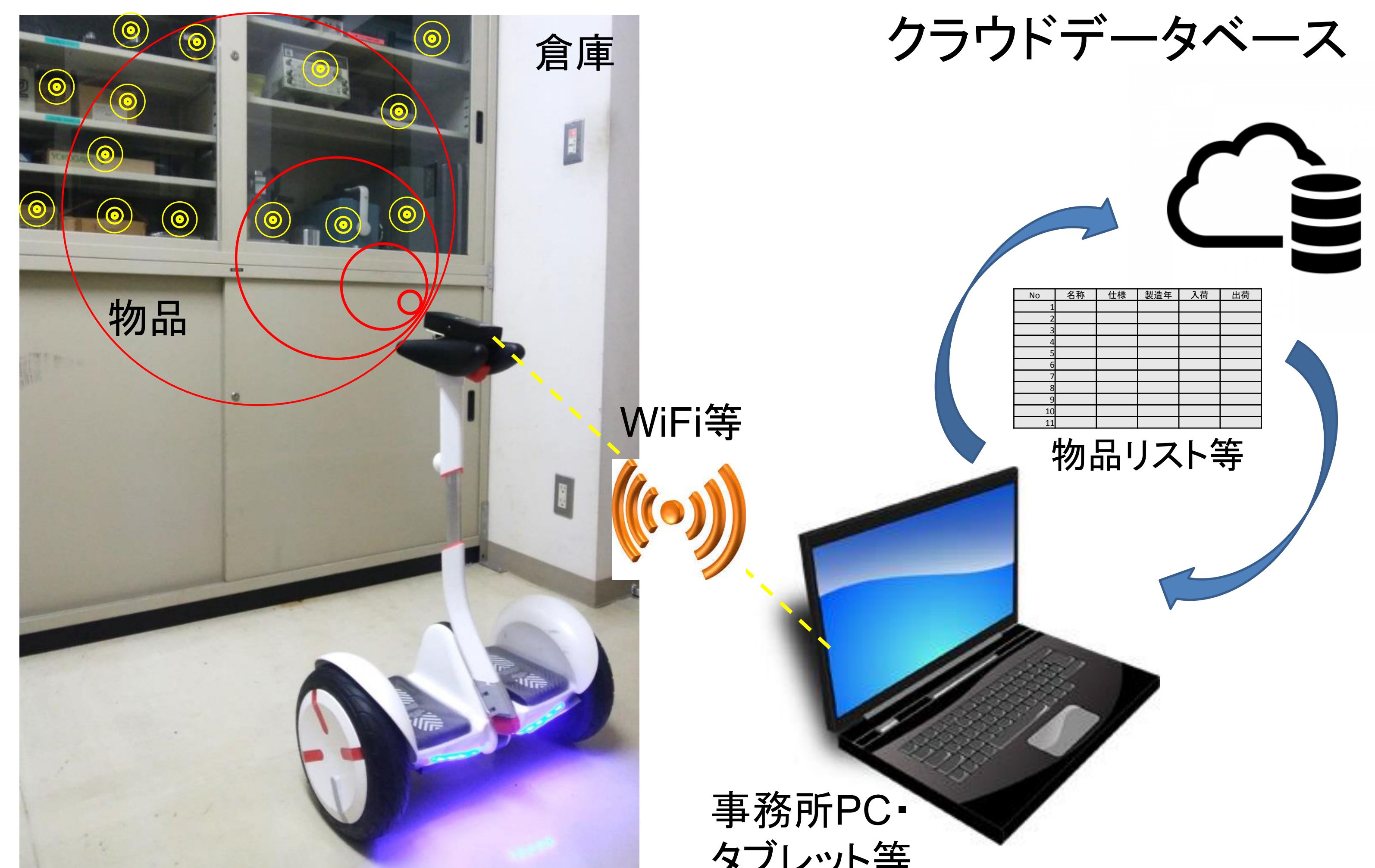
- 設備や物品の入在庫管理・棚卸し作業の省力化
- 電力設備の故障・障害発生時の迅速・確実な対応を支援



金属対応RFIDタグの例
(フェニックスソリューション社製)



RFIDによる物品探索



棚卸し作業自動化のイメージ

開発者のひとこと

RFIDの活用メリットを最大化するためには、管理する物品に関する企業さま(製造業、物流業、工事業、など)と連携を図ることが重要です。このため、効果的なRFIDの活用方法や、情報管理システムのあり方について、関係企業さまと協力して検討を進めます。